

Proceeding of the Complement Symposium
Vol. 48 (2011)



会 期：2011 年 9 月 2 日（金）・3 日（土）

会 場：名古屋市立大学医学部／研究棟 1 1F 講義室 A

集会長：名古屋市立大学大学院医学研究科免疫学分野
岡田 則子

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

TEL: 052-853-8184 / FAX: 052-842-0149

E-MAIL : immunol@med.nagoya-cu.ac.jp

第 48 回補体シンポジウム参加案内

- 会 場 名古屋市立大学医学部／医学研究棟 11F 講義室 A
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
(名古屋市営地下鉄桜山駅 3 番出口すぐ)
- 受 付 第 1 日 9 月 2 日 (金) 12 時 00 分より
名古屋市立大学医学研究棟 11 階にて
参加費 一般 5,000 円 学生 2,000 円
懇親会費 3,000 円
- 発表方法 全て口頭発表、PC プレゼンテーションで行います。一般演題は討論も含めて
15 分間を予定しています。
PC は集会事務局で用意しますので、PowerPoint で作成したプレゼンテーション
ファイル (ファイル名は演題番号+氏名) を CD-R または USB メモリーにて
お持ちください (CD-RW および DVD によるデータの持ち込みはご遠慮ください)。
事務局で用意する PC と互換ソフトウェアは下記の通りです。
Windows (XP) : PowerPoint2007
Windows (7) : PowerPoint2010
Mac (OS10.5) : Powerpoint2008
プログラム進行の都合上、持ち込みによるプレゼンテーションは不可とします。
動画を含むなどファイルの互換性に問題が予想される場合は、必ず事前に事務局
までご相談下さい。ファイルの受付は、必ず発表があるセッションが始まる
前までにお済ませ下さい。講演会場である医学研究棟 11 階講義室 A 前の受付
横にプレゼンテーションファイル受付カウンターがあります。
- 運営委員会 第 2 日 9 月 3 日 (土) 8 : 00 ~ 9 : 00 (医学研究棟 2 階第二会議室)
- 総会 第 2 日 9 月 3 日 (土) 13 : 30 ~ 14 : 15 (医学研究棟 11 階講義室 A)
- 懇親会 第 1 日 9 月 2 日 (金) 18 : 00 ~ 20 : 30 (旧西棟 1F サクラサイドテラス)
- 優秀賞 第 48 回補体シンポジウムに応募された演題発表者の中から、第 48 回補体
シンポジウム優秀賞を選考し、賞状と副賞 (10 万円 : 複数の場合は折半) を
贈呈します。
- 交通費補助 学生参加者 (筆頭発表者) には、交通費の補助があります。該当者は集会長に
ご連絡ください (E-mail: immunol@med.nagoya-cu.ac.jp)
- 年会費 会員で年会費を未納の方、および新たに入会される方は、シンポジウム会場受
付に補体研究会事務局受付を併設いたしますので、そちらでご納入ください。
一般 : 5,000 円
学生 : 3,000 円 (学生証等の身分証明をご用意ください)

【補体研究会事務局】

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センター研究所分子遺伝学部門内
事務局長 : 井上徳光
Tel: 06-6972-1181 (ext.4101) Fax: 06-6973-5691
E-mail: hotai-kenkyukai@umin.ac.jp

交通アクセス

■ JR、名鉄、近鉄名古屋駅から

↓ 名古屋市営地下鉄 桜通線 「徳重」 行き乗車→「桜山」 駅下車 3 番出口
(約 16 分)

■ 中部国際空港から

↓ 名古屋鉄道ミュースカイ or 快速特急 or 特急乗車→「金山」 駅下車
↓ 市営バスに乗り換え

[7 番のりば]

金山 11 「池下」 行き乗車→「桜山」 下車 (乗車時間: 約 15 分)

金山 16 「瑞穂運動場東」 行き乗車→「桜山」 下車 (約 15 分)

金山 12 「金山」 行き乗車→「市立大学病院」 下車 (約 20 分)

金山 12 「妙見町」 行き乗車→「市立大学病院」 下車 (約 20 分)

[8 番のりば]

金山 14 「瑞穂運動場東」 行き乗車→「市立大学病院」 下車
(約 20 分)



会場周辺のご案内

- シンポジウム会場：マップ③ 医学部研究科・医学部研究棟 11F 講義室 A
 運営委員会会場： マップ③ 医学部研究科・医学部研究棟 2階第二会議室
 懇親会会場： マップ⑭ 旧西棟 1F サクラサイドテラス



桜山(川澄)キャンパスのご案内

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 本部棟 | 7. 厚生会館(西棟) |
| 2. 総合情報センター(図書館)・講堂 | 8. 厚生会館(東棟) |
| 3. 医学研究科・医学部研究棟 | 9. 看護学部棟 |
| 4. 医学部基礎教育棟 | 10. 付属病院(外来診療棟) |
| 5. 医学研究科アイソトープ研究室・
分子医学研究所 | 11. 付属病院(病棟・中央診療棟) |
| 6. 実験動物研究教育センター | 12. 付属病院駐車場 |
| | 13. 地下鉄桜通線 桜山駅3番出入口 |

日程表

9月2日（金） 12：00 開場

12:55~13:00	開会の辞 岡田則子
13:00~14:15	セッションA：レクチン・サイトカイン・制御因子 座長：松下 操・若宮伸隆
14:15~14:30	休 憩
14:30~15:45	セッションB：アナフィラトキシン 座長：山本哲郎・遠藤雄一
15:45~16:30	セッションC：進化・系統発生 座長：藤田禎三・中尾実樹
16:30~16:45	休 憩
16:45~17:45	特別講演1：Mechanisms behind gain-of-function mutations in complement activating proteins which cause atypical hemolytic uremic syndrome or dense deposit disease 演者 Claire L Harris 座長 松尾清一
18:00~20:30	懇親会 「サクラサイドテラス」 名市大医学部施設内

9月3日（土） 8：30 開場

9:00~11:30	特別企画シンポジウム：補体研究：基礎から臨床へ 座長：水野正司・今井優樹
11:30~11:45	休 憩
11:45~12:30	特別講演2：The role of properdin in complement alternative pathway-mediated disease 演者 Takashi Miwa 座長 野中 勝
12:30~13:30	ランチョンセミナー：C1インヒビター製剤の臨床 演者 板橋妙 藤川岳 堀内孝彦 座長 大井洋之
13:30~14:15	総会および優秀賞表彰式*
14:15~15:15	セッションD：臓器障害、補体活性化 座長：井上徳光・畑中道代
15:15~15:45	セッションE：補体異常 座長：遠藤守人
15:45~16:00	休 憩
16:00~16:45	特別講演3：ペプチド創薬の展望 演者 岡田秀親 座長 木下タロウ
16:45~	閉会の辞 岡田則子

*総会開催前にシンポジウム参加者の全体写真を撮影予定です。

第 48 回補体シンポジウム・学術プログラム

第 1 日 9 月 2 日 (金)

セッション A : レクチン・サイトカイン・制御因子

13:00~14:15

座長 松下 操・若宮伸隆

- A-1 *Trypanosoma brucei brucei* 昆虫型原虫のラット正常血清による溶解
藪 義貞, 伊藤奈緒子, 高岡大樹, 岡田則子
名市大・医・免疫
- A-2 コレクチン CL-K1 のヒト血中濃度
大谷克城¹、吉崎隆之¹、森健一郎¹、本村亘¹、松田泰幸¹、黄仁秀¹、
吉田逸朗¹、金然旭¹、鈴木定彦²、若宮伸隆¹
¹旭川医科大学・医学部・微生物学講座、
²北大人獣共通感染症リサーチセンター・国際疫学部門
- A-3 H1N1 インフルエンザの重症化における補体アナフィラトキシン及び HMGB1 の
関与
太田里永子¹、伊藤嘉規²、鳥居ゆか²、木村 宏³、岡田則子¹、今井優樹¹
¹名市大・医・免疫、²名大・医・小児科、³名大・医・ウイルス
- A-4 抗がん免疫療法のターゲットとしての乳酸シグナル経路の可能性
井上徳光¹、大橋敏充^{1,2}、藪 政彦¹、赤澤 隆¹
¹大阪府立成人病センター・分子遺伝、²岐阜大学・医・耳鼻咽喉科
- A-5 MBL による C2 バイパスを介する第二経路活性化
立石恒一郎¹、寺林一幸²、Norafila Humrawali²、松下 操^{1,2,3}
東海大学・¹大学院総合理工学研究科、²大学院工学研究科、
³工学部生命化学科

座長 山本哲郎・遠藤雄一

B-1 慢性白血病 K562 細胞脱核モデル系の確立

西浦弘志、山本哲郎

熊本大学・大学院生命科学研究部・分子病理分野

B-2 プロカルボキシペプチダーゼ R 欠損はコンカナバリン A 誘発性肝炎による致死率を雌マウスにおいて増大させる

朝井鈴佳¹、金原紀章¹、多田豊廣²、今井優樹¹、William Campbell^{1,3}

岡田秀親⁴、岡田則子¹

¹名市大・医・免疫、²名市大・看・病理、³福祉村病院・長寿研、
⁴蛋白科学研究所

B-3 カルボキシペプチダーゼ R 生成を阻害する相補性ペプチド

河村剛至^{1,2}、堀川康一郎¹、岡田秀親³、岡田則子²

¹日薬大・薬・臨床薬学教育センター、²名市大・医・免疫、
³(株)蛋白科学研究所

B-4 急性腹膜障害に対する C5a の関与と C5a 阻害薬の有用性

水野智博^{1,4}、水野正司^{2,3}、櫛田真由⁴、野田幸裕⁴、山田清文¹、今井優樹⁵

岡田秀親⁶、岡田則子⁵、丸山彰一³、松尾清一³、伊藤恭彦^{2,3}

¹名大・医・医療薬、²名大・医・腎不全総合治療学、
³名大・医・腎臓、⁴名城大・薬・病態解析、⁵名市大・医・免疫、
⁶長寿医学研

B-5 臍島移植における C5a 阻害ペプチドの作用機序に関する検証

中西 渉¹、後藤昌史^{1,2}、稲垣明子²、戸子台和哲³、岡田則子⁴、

岡田秀親^{4,5}、里見 進¹

¹東北大学先進外科、²東北大学未来科学技術共同研究センター、
³仙台社会保険病院外科、⁴名古屋市立大学医学部免疫学、
⁵医療法人福祉村病院長寿医学研究所

座長 藤田禎三・中尾実樹

C-1 節足動物における TEP ファミリー遺伝子の進化

関口玲生、野中 勝

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

C-2 コイ C3 アイソタイプの機能解析

一木智子¹、鷗木（加藤）陽子²、杣本智軌²、中尾実樹²

¹九州大学大学院生物資源環境科学府、²九州大学大学院農学研究院

C-3 コイ補体成分 C4 アイソタイプ (C4-1, C4-2) の結合特異性の解析

山本 暁¹、一木智子¹、杣本智軌²、中尾実樹²

¹九州大学大学院生物資源環境科学府、²九州大学大学院農学研究院

特別講演 1

座長 松尾清一

16:45~17:45

Mechanisms behind gain-of-function mutations in complement activating proteins which cause atypical hemolytic uremic syndrome or dense deposit disease.

Claire L Harris

Cardiff University School of Medicine, Cardiff, UK

第2日 9月3日(土)

特別企画シンポジウム：補体研究：基礎から臨床へ

9:00~11:30

座長 水野正司・今井優樹

S-1 MASP1 遺伝子産物の多機能性について

高橋 実¹、岩城大輔¹、遠藤雄一²、藤田禎三³

¹福島県立医大・医・免疫、²福島県立医大・医・RI、

³福島県立総合衛生学院

S-2 発作性夜間血色素尿症をはじめとする GPI 欠損症について

村上良子¹、井上徳光²、七島勉³、太田里永子¹、野地秀義³、

前田裕輔¹、西村純一⁴、木下タロウ^{1,5}

¹大阪大・微研・免疫不全、²大阪府立成人病センター・免疫学

³福島県立医大・循環器・血液内科、⁴大阪大・医・血液腫瘍内科

⁵大阪大・IFRec・糖鎖免疫

S-3 補体と腎移植：最近の知見から

小林孝彰

名古屋大学医学部免疫機能制御学寄附講座

S-4 A CDC-enhancing anti-CD20 antibody mediating potent antitumor activity in the humanized NOG mouse lymphoma model.

石田高司

名古屋市立大学医学部腫瘍・免疫内科学

S-5 An acetylated anti-C5a complementary peptide reduced cytokines storm and prolonged survival time in a neonatal sepsis model.

Mohamed Hamed Hussein^{1,2,4}, Ghada Abdel-Hamid Daoud³, Tatenobu Goto¹, Shin Kato¹, Masanori Nobata¹, Hiroki Kakita¹, Haruo Mizuno¹, Tetsuya Ito¹, Ineko Kato¹, Satoshi Suzuki¹, Noriko Okada⁵, Takashi Hashimoto⁴, Hidechika Okada^{5,6}, Hajime Togari¹

¹Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, ²Research Center and

³Department of Obstetrics and Gynecology, VACSERA, Giza, Egypt,

⁴Department of Pediatric Surgery, Fujita Health University School of Medicine, ⁵Department of Immunology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, ⁶Choju Medical Institute,

Fukushimura Hospital

特別講演 2

座長 野中 勝

11:45~12:30

The role of properdin in complement alternative pathway-mediated disease

Takashi Miwa

University of Pennsylvania School of Medicine, Philadelphia, USA

共催 CSLベーリング (株)

ランチョンセミナー 座長 大井洋之

12:30~13:30

「C1インヒビター製剤の臨床」

HAE～国内現況と課題～

板橋 妙、藤川 岳、篠原直樹

CSL ベーリング株式会社・マーケティング本部

突発性浮腫の鑑別と治療

堀内孝彦

九州大学免疫・膠原病・感染症内科

共催 CSLベーリング (株)

座長 井上徳光・畑中道代

D-1 IgA 腎症の腎組織における C3 沈着部位と臨床的意義の検討

大澤 勲、草場 岳、石井雅也、佐藤信之、井下博之、恩田紀更、
鈴木日和、堀越 哲、大井洋之、富野康日己

順天堂大学医学部腎臓内科

D-2 IgA 腎症における血清 IgA・C3 値の変動とその意義

鈴木日和、恩田紀更、児玉史子、石井雅也、草場岳、佐藤信之
長町誠嗣、大澤勲、大井洋之、富野康日己

順天堂大学医学部腎臓内科

D-3 腹膜擦過後の Zymosan 投与により誘導される補体依存性の高度の腹膜炎症
ラットモデルにおける、低血清培養脂肪由来間葉系幹細胞の有用性

金恒秀、水野正司、古橋和弘、勝野敬之、安田香、尾崎武徳、坪井直毅、
伊藤恭彦、松尾清一、丸山彰一

名古屋大学医学部腎臓内科

D-4 腹膜透析に関わる組織障害への補体関与の解析と、腹膜障害に対する抗補体療法
の可能性

水野正司

名大・医・腎臓総合治療学寄附講座

座長 遠藤守人

E-1 本邦における遺伝性血管性浮腫（HAE）：その臨床と基礎

堀内孝彦¹、塚本 浩¹、田平知子²、山本哲郎³

¹九州大学免疫・膠原病・感染症内科、²九州大学生体防御医学研究所

³山本診療所

E-2 aHUS 患者における Factor H の解析

向井早紀¹、廣田雅子¹、日高義彦²、松田和之¹、山内一由³、
菅野光俊¹、本田孝行^{1,4}

¹信州大学医学部附属病院・臨床検査部、

²信州大学医学部附属病院・小児科、

³筑波大学大学院人間総合科学研究科・臨床医学系、

⁴信州大学医学部・病態解析診断学講座

特別講演3

座長 木下タロウ

16:00~16:45

ペプチド創薬の展望

岡田秀親

株式会社蛋白科学研究所

Memo
